

2002年5月24日

東京外国為替市場委員会第54回会合議事録

開催日時	2002年5月23日 13:00～14:30
場 所	日本銀行本店新館 9階中会議室
議 長	荻野 哲司 (東京三菱銀行)
副 議 長	小林 和成 (ステート・ストリート銀行)
副 議 長	小田 克彦 (みずほコーポレート銀行)
書 記	西川 広親 (日本銀行)
参加委員数	16名 (別紙)

委員の選任および退任の件

荻野議長(東京三菱銀行)より、公募中であった委員に下記の立候補者があったことが報告されました。

梨本 忠彦 (パ・クレイブ 銀行)

また、西川委員(日本銀行)の委員としての任期(2年)が満了したこと、および、西川委員から再任のために立候補する意思が示されたことも併せて報告されました。

これに伴い、各立候補者について、提出書類に基づく審査、立候補者の所信表明を経て委員による投票が行われ、全会一致で兩名ともに選任されました。

外為法改正に関わる本人確認基準ガイドライン

外為法改正に関わる本人確認基準ガイドラインに関し、金上法律問題小委員長(三菱信託銀行)より以下の報告がありました。

小委員会は執行部と共同で、全銀協とも協力しつつ、財務省、金融庁双方に対して、実務的・技術的な情報を提供するとともに、新たな法律が過度に実務上の混乱や取引の停滞を生じることを出るだけ回避するため話し合いを続けている。

上記報告を受け今後の当委員会の働きかけや活動について議論が行われました。市場取引を阻害せず本人確認の実を挙げられる方策について、引き続き法律問題小委員会を中心に検討を進めつつ政省令策定作業に協力していくことになりました。

委員の活動水準維持について

加藤運営小委員長(野村證券)より、前回会合で議題になった委員の活動水準を維持するための方策に関して、運営小委員会(5月16日開催)における議論に基づき、以下の報告があり、全会一致で了承されました。

・当委員会が取り組むべき案件が増える中、委員会活動を担う各委員の活動水準の維持・向上や負担感の偏り回避を目指し、関連制度手続き等を整備したい。具体的には以下の3点。

(1) 委員の活動水準維持のための申し合わせ

… 委員が本委員会を欠席する場合のルール、長期に亘り委員会活動に十分な参画をしていない委員に対する対応、委員所属機関の推薦人が委員に期待される活動内容を十分に認識するよう配慮（典型的活動内容の解説メモの交付等）

(2) 委員の解任手続き

… 解任動議提出、裁決等の手続きを明確化（委員会活動への参画が極端に低調な場合も解任理由となることを明記）

(3) 「委員に期待される活動内容」に関する説明ノートの作成

… 典型的な委員会活動の内容をまとめたノートを作成し、ホームページに掲載するとともに、立候補者および推薦人に手交する。

各小委員会活動報告

各小委員会より、活動状況について以下の通り報告がありました。

(1) 教育小委員会

今井小委員長（UFJ 銀行）より、次回フォレックスセミナーの開催計画に関し、以下の報告がありました。

日時： 5月27日（火）（当日はNY 休日）

18時から約2時間程度

場所： 野村証券 千代田区大手町2-2-2 アーバンネット 大手町ビル3F

講演内容：「為替相場の読み方」

講師：吉川 雅幸氏（朝日ライフアセットマネジメント）

：林 康史 氏（大和投信）

参加費： 5,000円

(2) CLS 小委員会

市川小委員長（みずほ銀行）より、小委員会会合の討議内容に基づき、以下の報告がありました。

CLS に関する議論においては、フロント業務以外に関わる論点も多いため、事前対応におけるポテンヒットや無用の重複を避けるためにフロント、バック、ユーザーグループ等が一同に会して議論する場が必要と判断。CLS 小委員会メンバー（銀行のフロントオフィス）が声を掛け、5月17日（金）にフロント、バック（銀行とブローカー）、CLS ユーザーグループ・メンバーの合同会合を開催し、今後部門間の連携を向上させるため、連絡窓口の設置等について合意した。

各グループの現状は以下の通りだが、総じて CLS 開業（2002 年 8 月）が近いにもかかわらず、多くの検討課題を残していること、および他部門の動向や意向に関する情報不足に悩んでいることが明らかになった。この結果、今後、必要に応じて部門を跨いだミーティングの開催も含めて意見・情報の交換・調整を密に行っていくこととなった。

(a) ブローカー・バック・オフィス

ブローカーとしては迅速な事務処理体制を確立するためシステム対応を計画中であるが、情報不足で具体的な事務フローは未だ固められずにいる。従って、CLS 対象取引においてボイス・ブローカーが求められる事務の具体的内容について早急に確認したい。

(b) CLS ユーザーズグループ

CLS 関連ベストプラクティスは基本的にはすべての CLS 参加行に適用されるユニバーサルなものであるが、ユーザーズグループでは、各地域における事情も勘案したローカルなベストプラクティスも併せて作成している。その際、現場の声が必要と思われることも多いので、これを機にフロントやバックオフィスの情報交換を密にしていきたい。

(c) 銀行・バック・オフィス

CLS 稼働開始当初は、セトルメント・メンバーが細かいグループに分割され、グループ内でのみ CLS 取引を行う。これら小グループが徐々に統合されていくことになる。自行がどのグループに組み込まれ、どのようなタイミングでどこに統合されていくのかは、現時点では未定である。したがって、現段階では CLS 決済について詳細情報を還元することは困難。

(3) Code of Conduct 小委員会

中島小委員長（スタンダード・チャータード銀行）欠席のため、小林委員（セント・ストリート銀行）より以下の報告がありました。

電子取引については E-commerce 小委が検討した案を基に検討した。基本的には同小委の考え方を採用するが、具体的な書き振りについては他の条項とのバランス等も勘案して修正を加えている。

改訂版 Code of Conduct については、ドラフトを出来る限り早期に（月内を目処）完成させる予定。完成後に当委員会委員の意見を募りたい。

改定作業に関しては、Code of Conduct と Model Code の比較検討も併せて続けていく。例えば HRR 等に関する現状の市場慣行と Code の間のズレに注目していく。

(4) T + 1 小委員会

小林小委員長（セント・ストリート銀行）より、以下の報告がありました。

「T + 1 問題に関する報告書」については、最終的な微修正を行っている状況。

米国 SIA では同時多発テロ以降、BCP (Business Continuity Plan) が重要なテーマとなっている。SIA としては BCP の検討に人的・物的資源を投入する必要があることに加え、BCP の議論を踏まえて T + 1 化の妥当性や可能性について再検討する必要があるとの考え方が台頭している。このような事情から、T + 1 決済の推進については現在見直しが行われている。

(5) NDF 小委員会

稲村小委員長 (シティバンク) より、以下の報告がありました。

- ・アジア通貨の中で最も NDF 取引の需要が多いと思われる韓国ウォンの NDF 市場について、実態を調査したところ、以下の点が判明した。
 - (a) ドル / ウォン NDF 取引のうち、7 ~ 8 割は実需絡み、2 ~ 3 割が純粋に投機的目的で実施されている模様。
 - (b) 実需については非居住者株式ファンドによるヘッジが中心で、直接投資絡みのヘッジがそれに次ぐ。
 - (c) 実需の絡まない取引を行う主体は主にヘッジファンドであるが、外資系銀行も一部実施している模様。

その他

(1) 月末市場実勢相場について

野口オブザーバー (マネー・ブローカーズ・アソシエーション) より以下の報告がありました。

全銀協の外為経理基準改訂を受けて、フォワード取引の引き直しレートについては各行が独自に市場レートを調査することになった。しかし、中小金融機関の対応が難しいとの要請を受け、マネー・ブローカーズ・アソシエーションが 2002 年 4 月より、スワップ・スプレッド、オプション・ボラティリティ、円金利について実勢相場を公表している旨、報告がありました。

(2) モスクワ銀行間外為取引所からの照会

居村オブザーバー (東京三菱銀行) から、モスクワ銀行間外為取引所より、東京外国為替市場の取引慣行についての照会を受け、それに回答をしたこと、および今後もこのような形で海外市場委との連携を強化していく方針である旨、報告されました。

以上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(6月23日現在)

<委員>

議長	荻野 哲司	(東京三菱銀行)
副議長	小田 克彦	(みずほコーポレート銀行)
副議長	小林 和成	(ステート・ストリート銀行)
兼 T+1 小委員長		
書記	西川 広親	(日本銀行)
運営小委員長	加藤 博光	(野村証券)
広報小委員長	神田 紀昭	(ロイヤル・ジャパン)
教育小委員長	今井 雅人	(UFJ 銀行)
法律問題小委員長	金上 孝	(三菱信託銀行)
E コマース小委員長	野手 弘一	(三井住友銀行)
CLS 小委員長	市川 亨	(みずほ銀行)
NDF/CFD 小委員長	稲村 秀彦	(シティバンク)
Code of Conduct 小委員長	中島 尚彦	(スタンダードチャータード銀行)
	花生 浩介	(ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド)
	梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
	石川 栄一	(イービー・エス・ディーリング・リソース・ジャパン)
	神田 紀昭	(ロイヤル・ジャパン)
	伊藤 一雄	(トウキョウフレックス上田ハロー)

<オブザーバー>

	野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	川添 敬	(日本銀行)
	居村 元	(東京三菱銀行)
	竹中 浩一	(みずほコーポレート銀行)

(注) 敬称略(順不同)。 は今回出席。